吉木愛育班が活動報告

国東町吉木愛育班の田口友恵班長が、２月19日に広島県で開催された「愛育班九州・中国ブロック研修会」で活動の様子を報告しました。

吉木愛育班は、子どもからお年寄りまで３世代、４世代の交流ができるように橋渡し役として、「愛育班だより」を年３回発行しているほか、地域住民への「こんにちは。お元気ですか？」の声かけ運動、また、ゴキブリ団子作りやお芋のおやつ作り、ポプリ作りなど活発な活動を行っています。

市内から５人 自衛隊新入隊者激励会

国東市自衛隊新入隊者激励会が３月３日、アストくにさきで開催され、高校を卒業した新入隊者と保護者、関係者が参加しました。三河明史市長や馬場將郎市議会議長、自衛隊大分地方協力本部の渡辺辰悟本部長が激励のあいさつをし、入隊者５人を代表して山本一輝さん（国東町綱井）が、「希望と重責に身が引き締まる思い。期待に添えるように訓練に励みます」と決意を述べました。

木造如来坐像が県有形文化財に

萱嶌弘昭さん（福岡市）より市に寄贈された木造如来坐像（伝阿弥陀如来）が２月、県の有形文化財に指定されました。素材は榧（かや）で、本体の大部分を１本の木材から削り出し、内部をくりぬいて手や足などの部位を後付けする一木造りという技法で作られています。顔の表情や衣文の表現などから、平安時代後期（11世紀頃）に、六郷満山に関係する仏師により造られたものであると考えられています。

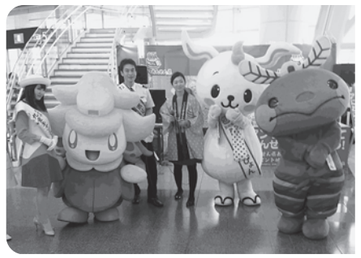
この坐像は、もともと地域で祭祀されていたものを、国東町中田の萱嶌さん一家が引き取り、三代にわたって管理されていたものです。現在は、文化財課で保管しています。

岩戸寺講堂保存修理現地説明会

国東市では、修正鬼会が行われる岩戸寺講堂の傷みが著しいことから、昨年４月から保存修理工事を実施してきました。

茅葺屋根の講堂がどのように修理されているのかを見ていただくため、３月８日に一般の方を対象とした現地説明会を行いました。当日は市内外から約30人の参加があり、保存修理の設計監理者が、講堂の構造や修理方法について解説しました。

羽田で、小倉で、国東市をＰＲ



国東市は県内の市町村と共に「おんせん県おおいた」をアピールするため、３月６日～８日に羽田空港で宣伝活動を行いました。イベントを盛り上げるため「さ吉くん」も出張し、子どもたちの人気を集めました。

また、東九州道開通に伴い、北九州・山口方面からの誘客を図るために「豊の国千年ロマン観光圏」大分県北部地域の８市町村が合同で、２月14日に壇ノ浦サービスエリア、３月８日に小倉駅ＪＡＭ広場でそれぞれイベントを行いました。

宮崎知行さんに叙勲

旧国見町議会議長や区長などを歴任した宮崎知行さん(88)が、その功績を讃えられ高齢者叙勲を授与されました。市役所を訪れた宮崎さんは、三河市長に「思いがけないことで光栄です。みなさんのご協力に感謝します」と笑顔で話しました。

泰濤書道館作品展「私の書跡 ’15展」

武蔵町の書家、牧泰濤（たいとう）（本名：泰正）さんが講師を務める「泰濤書道館」の生徒による第13回作品展が３月６日～８日、アストくにさきで開催されました。会場には市民54人を含む県下の幼児から高齢者まで160人、約300点が展示されました。初めて地元で書道展を行う牧さんは、「国東の芸術文化の向上に少しでも役立ちたいと思います」と話していました。

未利用の農地に農業参入３社決定

３月19日、国東市で農業参入する事業所の代表者と三河市長が、県庁で進出協定書に調印しました。長年にわたり利用されていなかった国東町小原の農業者大学校常緑果樹農業研修所の跡地を、市が国から購入し参入企業を募っていました。

参入を表明したのは、キュウセツAQUA（アクア）㈱（福岡市）、㈱日出電機（日出町）、㈲安部組（国東市）の３社。キュウセツAQUAはオリーブやミニトマトを、日出電機はリーフレタスやオリーブを、安部組はキウイフルーツ、カボス、小ねぎを生産予定で、３社合わせて約70人の雇用を予定しています。

鱧（はも）の水産加工場が４月稼働

鱧の加工処理を行うハナマル食品株式会社の施設が国東町小原に完成し、３月19日に関係者向けの内覧会が行われました。高級食材と言われながら加工や調理が難しいとされていた鱧を、特殊な装置で骨切りし、最新の急速冷凍システムで鮮度を保ち出荷します。食品工場の認証制度であるＦＳＳＣ、ＨＡＣＣＰ（ハサップ）といった食品安全管理の最高基準に対応し、排水も規制基準に準じた処理を行い環境にも配慮しています。

同社代表取締役の花畑祐二さんは、「国東の近海で獲れた鱧を新鮮なまま加工処理し、『豊後の姫はも』として通年出荷を目指します」と話しています。

七島イ製品のアメリカ市場調査を実施

七島イを海外に売り込むため、くにさき七島藺振興会の林浩昭会長と工芸士の岩切千佳さん、㈱地域産業振興の大滝敦さんと土橋博美さんの４人が、ロサンゼルスで視察を行いました。

３月24日、視察を終えた岩切さんらが市役所を訪れ、三河市長に報告しました。岩切さんは、「アメリカ人は『和』に大変興味を持っており、本物の商品を作れば受け入れてくれることがわかり、大変良い視察になった」と話しました。

振興会では、今後は七島イの歴史的背景などを明確にし、アメリカ進出を目指すことにしています。